筑波學生新聞

編集・発行
筑波大学学生新聞会
代表　山口　充
発行所　〒305-0005
茨城県つくば市天久保3-3-1-12
郵　便　〒305-8691
筑波学園郵便局 私書箱29号

筑波大 遺伝子実験セ 江面研

ミラクリン遺伝子 レタスに組込み成功

「酸っぱいを甘く」

筑波大学遺伝子実験センター江面研究室は、酸っぱいものを甘く感じさせる果実「ミラクルフルーツ」の遺伝子をレタスに組み込むことに成功した。早速、今回の研究の功労者、江面助教授（農林系）に研究の詳細を伺った。（米盛）

「ミラクルフルーツ」という赤い実を食べると、その後食べる酸っぱいものが甘く感じられる。これはミラクルフルーツに含まれる味覚修飾タンパク質「ミラクリン」が口の中で反応し、舌の甘味を感じる器官を刺激するからだ。実際、この植物が自生する西アフリカなどでは伝統的に酸味の強い食品（ヤシ酒、とうもろこしパンなど）を食べる前に、この実を口にする。その効果は約二時間持続するという。この実を食べれば砂糖抜きのデザートはレモンやお酢を加えることで甘くなるという。

このミラクルフルーツの遺伝子をレタスに組み込むことに成功したのが江面助教授を中心とした研究室だ。江面氏は「ミラクルフルーツは熱帯原産であるため日本の気候では栽培が難しい。レタスなら日本でも年中栽培、量産できる」また、「生食するものでないとミラクリンは壊れて効果が出ない」と今回の遺伝子組み換え対象にレタスを選んだ理由を話る。

「人の役に立つものを研究したかった」。ダイエットへの利用の他、糖尿病などで食事療法を取り入れる患者や病院にも歓迎されるであろう今回の研究成果に江面助教授は期待を見せる。また、「今までの遺伝子組み換え技術は、除草剤に強い品種改良など、主に生産者へのメリットが大きく、実際に口にする消費者は恩恵を受けられていなかったのでは」と新たな遺伝子研究の方向性を提示する。さらに現在、酸味の強いトマトやイチゴにも同様の遺伝子組み換え実験を行なっているという。

「遺伝子組換え」ということに対する危険性については「すべての遺伝子組換え作物が安全とは言えないが、検査（組換え遺伝子から作られるタンパク質が人間の胃腸内で分解されるか等）を通過したものは安全」と言う。さらに「今までの品種改良というのも人為的な交配による遺伝子組換えであり、その結果できた新品種は結局、遺伝子組換えされている。且つ安全性の検査は遺伝子組換え作物ほどに行われていない」とも付け加えた。

レタスが栽培されている遺伝子実験センター脇の温室へ案内された。風媒による周辺環境に対する影響を防ぐための二重扉をくぐり抜け、衣服への花粉付着を防止するための白衣を着る。温室で栽培されているレタスはいたって普通に見える。あらかじめ持参したレモンとグレープフルーツを小脇に抱え、試食をお願いしてみるが、「関係者以外は口にできない」と断られてしまった。ならば関係者である江面氏に試食を勧めるが、「どれが食べてもよいレタスなのか把握できていないので今回は勘弁して下さい」と言う。残念ながら今回の取材ではミラクリンの効果を目にすることはできなかった。

実際、ミラクリン入りレタスが一般の人々の口に入るのは三年程先になるそうだ。「この温室のレタスの種がミラクリン遺伝子を安定した形で受け継いでいるのか等、今後も地道な実験データによる遺伝的安定性の証明が必要である」と江面氏は研究の成功がすぐには商品化に結びつかない現状を説明する。今回の研究に期待する企業や医療機関との応用開発に関しては「レタスを少しでも多くの人々に食べてもらうには良きパートナー（食品メーカー等）が必要」「できるだけサポートやアドバイスにとどまりたい」とあくまで研究者たらんとするコメントを残した。

近い未来、デザートの食前にサラダやジュースとして食卓に登場するかもしれないミラクリン遺伝子組込みレタス。砂糖を一切使わない生クリームや餡にレモン汁を絞り、レタス、トマト、イチゴがトッピングされる、そんな時代の到来を予感させる研究が始まっている。ちなみに、現在わずかながら日本国内生産されているミラクルフルーツは一粒六〇〇円程で通信販売されている。

ミラクリン入りレタスを手にする江面助教授（遺伝子実験センターの温室にて）

シリーズ つくば市長選 選挙合戦の行方 ▶上

つくば市市長選立候補者

野口修氏の語る「学生の可能性」

任期満了に伴うつくば市次期市長選挙が一一月一四日に行われる。現在、それぞれの立候補者が研究学園都市の魅力をアピールしていく中、その魅力であるはずの学生・研究者らは市政への関心が極めて低い。大半の筑波大生は同市内に住んでいるにもかかわらず、その平均投票率は一〇％にも満たない。

九月二二日に行われたつくば市議会最終日の傍聴をした。そこで繰り広げられていたのはアピールとして利用される学生・研究者の目が不在の不毛な議論であった。審議時間も従来の半分の時間に短縮され、市議会は今、市民の声とは程遠い存在にある。果たして、時期市長選を間近に控える立候補者たちは学生を市政に惹きつけられるのであろうか。

シリーズ第一弾として立候補者のひとり、野口修現つくば市議にインタビューした。（米盛）

学生こそ市民

四年前まで、平砂宿舎に程近いところに、筑波大生と外の社会を繋ぐ「アクアク」というバーがあった。宮台真司・東浩紀・山下洋輔などの著名人をはじめ、多様な人々と筑波大生との交流が「アクアク」には記憶されている。この店舗を経営していたのが野口修氏である。「アクアク」経営の傍ら、つくば市議を二期務め、さらなる市政の根本的改革を目指し、次期市長選への出馬に至った。

野口氏は「市民力」を合言葉に、市民主役、市民との対話を徹底する、市民に身近な議会を作る、の四つを選挙公約に掲げる。

野口氏の考える「市民力」の市民とは「自立した市民」を意味するという。「つくばというまちに愛着が薄いといわれる筑波大生である学生はまさに『市民』」「つくばにとって『大学生がいる』というのは大きなメリットだ」と野口氏は断言する。「様々なしがらみに縛られない学生は純粋に世の中にアプローチできる。アートでもメディアでも表現する方法はいくらでもある」と学生の可能性を提示する。

インタビューに応える野口氏

学生にも魅力的な政策案として「欧米のようにボランティア活動を単位に互換できるようにする」「学生を途上国に有益な人材として派遣する」「行政がインターンシップを積極的に斡旋する」などを挙げる。

「学生の居場所を作りたかった」と「アクアク」の経営当時を語る野口氏は「筑波大生も協力することで、本格的なスポーツ・文化・芸術の交流を実現したい」と話す。「将来的にはサークル会館みたいな若者のたまり場を作り、バンド練習などができる空間を提供したい」と第二の「アクアク」を行政レベルで創り出すような案も飛び出す。

今月末に「マニフェスト会議」を企画している野口氏。「理想を語り、市民がリアリティーをもてる政治を」という氏の理想をかたちにする第一歩である公約が打ち出される予定である。会議では「市民力」を期待し、一般市民から学生まで幅広い意見を求めるという。サイレントマジョリティーとしての学生層をいかに行政に取り込んでいくかが当選のひとつの鍵を握っている。

次回引き続き、つくば市長選の行方を追いかけ、戦いの実態を伝えていく。

人工芝に張替え

第一サッカー場 改修総工費 二億円

筑波大学の第一サッカー場のフィールドがグリーンサンド（緑色の砂地）から、FIFA（国際サッカー連盟）公認の人工芝に張り替えられた。張り替え工事は体育の授業のない夏休み中に行われ、九月一四日には岩崎学長の始球式や筑波大OBで元Jリーガーの井原正巳さんらを招いて小学生とのミニゲームなど記念式典が開催された。

今回新たに張り替えられた人工芝は昨年夏にフィンランドで行われたU―17世界選手権で使用されたイタリアのモンド社製の「モンドターフ」というもの。天然芝に近い性能を持ち、摩擦による火傷・怪我の危険性が従来の人工芝より軽減されているという。悪天候時に長期間使えなくなってしまうことや、選手の故障を考慮して今回の張り替えに至った。工事には約二億円の費用がかかったというが、人工芝の材料費はモンド社と日本の代理店からの寄付を受けたため、実際の工費は二千万円程度に抑えられている。

現在はまだ観客席などの設置工事が継続しているが、近日中に完成する見込みで、既に蹴球部の練習も始められている。

蹴球部のT君は「前の（フィールド）に比べてすごくいい。Aチーム公式戦の関東大学リーグの試合は人工芝のフィールドで行われるから、本番と近い練習ができる」と新しい人工芝について述べる。また「話題性も高く、蹴球部の活動に注目が集まる」とも言う。

人工芝の練習場を備えた大学が多い関東大学リーグの大学の中でも、砂地のフィールドだった筑波大学の練習環境は悪いと長年言われ続けてきた。T君も「やっと練習環境が整ってモチベーションもあがった」と言う。高性能フィールドでの体育の授業は、一般学生にとっても有益なものになるだろう。

しかし、一部学生の間では「平山が来たから人工芝にした」とも噂されている今回の芝張り替え工事。スポーツニッポンは蹴球部の松本光弘部長が「平山にケガでもされたら大変。これが導入されれば施設面は万全。平山の練習ピッチが保証された」と話したと報じている。サッカー場は蹴球部や一般学生のものであり、蹴球部部長のものではない。平山が練習中にケガをしないことを祈る。

高齢者向け運動教室 地域通貨導入へ

筑波大学発ベンチャー企業である㈱つくばウエルネスリサーチ（茨城県つくば市、社長＝久野譜也筑波大学体育科学系助教授）はつくば市等と連携し、高齢者向けの運動教室を来年度から本格的に始める。運動による介護保険の負担を軽減することが狙い。

将来は参加者に地域通貨を払い、参加を促す計画。地域通貨は運動量などの記録に応じて提供される構想。高齢者運動教室は全国に広がっているが、「報酬」で意欲を高めようというのは珍しい試みで、経産省の支援を受けるという。

コンビニ強盗 私大生逮捕

「セブンイレブン」（つくば吾妻二丁目店）に二日午前五時ごろ、男が押し入り、カウンターにいた男性店員（二二）に包丁を突きつけ、「金を出さないと殺すぞ」と脅した。

同店員と別のアルバイトの男性店員（二二）がレジにあった護身用の鉄パイプで抵抗したため、男は逃走。店員の一人が約二週間のけがを負ったが男を追いかけ、店から約百五十メートル離れた路上で取り押さえ、つくば中央署員に引き渡した。

逮捕されたのはつくば市内に住む私大生佐藤喜弘容疑者（二一）。「遊ぶ金や生活費が欲しくてやった」などと供述しているという。

同店では一日朝にも強盗未遂事件があり、佐藤容疑者は同事件の犯行も認める供述をしている。

第七回 天上大風 開催される

―伝統系サークルそろい踏み

Photo Report

和太鼓や、三味線・書道といった伝統文化系サークルの合同企画「天上大風」が、九月二〇日、筑波大学開学記念館で開催された。七回目を迎えた今回は「大和魂てんこ盛り」をテーマに、九団体一四四名が日頃の稽古の成果を披露した。サークルの枠を越えたコラボレーション企画や、来場者が参加できる体験コーナーも用意され、多くの来場者が秋晴れの休日を伝統文化の空気の中で過ごしていた。

当日は約二〇〇部用意されたパンフレットが昼過ぎにはなくなり、会場内は立見も出るほどの盛況だった。来場者数は過去最高の二五四人を記録した。

会場には留学生の姿も多く見られた。フランスからの留学生のヤンさんは「とてもすばらしかった。友だちの三味線が聴けてよかった」と感激した様子だった。体験コーナーでは自分も三味線に挑戦。友人からの指導に熱心に耳を傾け、慣れない手つきながら懸命にバチを操っていた。留学生の日本文化に対する関心の高さが垣間見られた。

友達の演奏を聴きにきたという猪股さん（自然二）は「ときめき太鼓塾の舞台を一度見てみたかった。想像以上にアクティブで楽しかった」と笑顔で話し、体験コーナーでは一度叩いて見たかったという太鼓に向かっていた。

前日は徹夜で練習して舞台に望んだという「ときめき太鼓塾」の佐藤義竜さん（資源二）は「午後の部はノリノリで、直前の練習でも上手くいかなかったところが成功してハッピーでした。演奏しているときは自分たちも楽しんでやっているので、お客さんにも楽しんで欲しい」と疲れた様子も見せずに話し、「学祭にはもっと期待して欲しい」と次の舞台に照準を合わせていた。

一見、成功のうちに終わったかのようにみえる「天上大風」。だが今後に向けても「天上大風」内部には課題が残る。代表責任者の久保田さん（社会二）は「（コラボレーション企画のような）参加者同士の交流の場をもっと持てれば」と話す。だが、主催者側の思いとは裏腹に、各参加団体の「天上大風」に対するに温度差が見えかくれする。「回を追うごとに参加団体が増え、サークル間の意思疎通が難しくなってきている」と別の関係者は嘆く。久保田さんも「毎週参加団体から代表者が集まるが、その都合をつけるのがとても大変だった」と話す。また以前参加したことのある茶道部や落語研究会が今回は参加していない。参加団体の中にも「天上大風」を学祭へ向けてのリハーサルという位置づけで捉える団体もあった。こうした現状からもわかるように、すべての伝統系サークルが天上大風に協力的というわけではないようだ。

久保田さんは「今回は全体としては大成功といえるが、まだまだいけると思った。来場者数ももっとのばしたい」と話し、今後の「天上大風」に課題を残しつつも、次回以降に向けて意欲を見せていた。（串田）

当日は留学生の姿も多く見られた

今月の紙面

1、ミラクリン遺伝子レタスに組込み成功

シリーズ市長選　野口修氏インタビュー

2、つくばの飲食店　衛生大丈夫？

珍来、過去・未来

日々休講

敬老の日、祖父母につくば産のお米を贈った。鹿児島で農業を営む祖父母の田んぼが今年減反政策に引っかかったことを知っていたからだ。我ながらよい贈り物をしたと悦に浸ってしまった。▼減反指定された農家は田んぼを荒廃させないように大豆や蕎などを植えてそれを一定額で国が買い取ってくれるという。鹿児島だと飼料用として使ってもらえるらしい。こんな減反政策で供給量を調整するより、米の価格を下げればいいのではないかというのは楽観的過ぎるのだろうか▼欧米食文化が浸透したのは、戦争直後の時代、安価でカロリーが摂取できるパンや脱脂粉乳の給食が子供たちに配給されたことが背景にある。確かに現在でもパンは低価格でお腹を満たしてくれるし、パスタはお米が買えなくなったときの助っ人▼「米は高い」なんて、お米が主食の国にいて随分と奇妙なことだと思う。農家の保護だとかなんとかいって国が守っているものは結局なんなのだろう▼最近、中国が突然日本への炭の輸出をストップした。それも国内消費の八割を中国産に頼っている白炭の輸出を禁止した。全国の焼鳥屋はパニックに陥っているという。日本のそれに比べ、半値程しかしなかったからだ。中国側の言い分は「森林保護のため」▼そこで日本政府は①マレーシアに頼る②国内の炭生産者に増産を促す③おが屑でつくった炭の使用を求める、と解決策を示した中国もマレーシアも随分とたくさんの森林を日本のために破壊していた／いるのだと気付かされる▼既に日本の山は荒れている。人間が手を入れてやらなければ山は死んでしまう。百年単位で見守られてきた山々は、輸入木材・炭の進出で危機に瀕している▼疲れて家に帰ると、お米を炊く元気もなくなっている。けれどそこで最後の力をふり絞り、お米を洗う。炊きたてのごはんはとてもおいしい。お腹でなくて脳が満たされる感じがする▼あらゆるものに溢れかえっている豊かな国に生まれて、七輪で焼いた秋刀魚とほかほかのごはんを食べるのが贅沢に見えるのはどうしてだろう▼「安い！」を追究してたら自分の国はこうなってました、とは大きな声で言えない。日本は輸入国の労働者の犠牲の上に成り立っているから切り捨てることもできないから▼お米を洗うと水が冷たくなってきたことに気付く。今日も秋刀魚が無性に食べたい。

筑波學園文庫
学術書・専門書
レベルの高い分野
高価買入（ex.物理学）
http://www1.ttcn.ne.jp/~tgb
デニーズ　すき家　珍来　東大通り　学園平塚線　筑波学園文庫
つくば市天久保3-21-3
TEL/FAX (029)856-0322

22年間、「学生」が見つめてきた。

筑波學生新聞縮刷版 CD-ROM
第一巻　創刊準備号～170号　一巻 ¥2500
第二巻　172号～202号　一巻 ¥1000（税込）
第一巻は
大学会館書籍部
にて発売中
ご注文・お問い合わせ
TEL/FAX 029-852-4460
〒305-8691
筑波学園郵便局 私書箱29号
http://www.geocities.jp/dtfmj027/

夢、希望、そして恋…。
その場所には、昔の自分が
追い求めた総てがあった。
「こなべの見た筑波」掲載中
TSP on The WEB
http://www.geocities.jp/dtfmj027/

単位を集めるだけの大学生活
あなたは満足ですか？
↓
筑波学生新聞体験入部受付中

筑波学生新聞は次の店舗で販売いたしております。
大学会館書籍部
第一学群書籍部
第二学群書籍部
第三学群書籍部
医学専門学群書籍部
図書情報学群書籍部
吉池（学生宿舎共用棟内）
筑波学園文庫
友朋堂吾妻店
友朋堂桜店
ブックランドカスミ
みやもと
セブンイレブン松見公園店
セブンイレブン平塚店
ローソン天久保店
モンペリニューモード
販売・設置店拡大中

業界初!!
学割 半額 サービス開始!!
たとえば 担々麺 924円 ⇒ 462円
24時間営業
※お一人様一品限定で半額サービスさせて頂きます。学生証をお持ち下さい。
中国のあふれるパワーと思いやりあふれる母の味
中国燉燉料理
李厨房
CHINOISE DINING & LUNCH BOX
・つくば市古来295-1（土浦学園線沿いユーカーナカジマ隣）
・24時間営業　・無休
（ランチ　AM11:00～PM5:00）
TEL029-857-2837
http://www.leechubou.com

つくばの飲食店 衛生大丈夫？

保健所の監視甘い

経営者 十数年来立ち入り検査はない

筑波大学周辺の飲食店は一人暮らしの学生にとって強い味方だ。手頃な値段で食事をとることができるため、学生はよく利用している。「あの店のご飯には虫が入っていた」等が笑い話として話題にあがることも多い。はたしてつくばの飲食店は安心して利用できるのだろうか？　（棚町）

筑波大生を対象に飲食店の衛生について聞き取り調査を実施したところ、定食屋や居酒屋を頻繁に利用する学生から「からあげを頼んだら虫も一緒に揚げられていた」「店の壁に貼ってある紙をめくると裏に虫がいた」などの声が聞かれた。また自営の飲食店でアルバイトをしている学生からは「施設・設備が古くて汚い」といった声や「経営者はアルコール消毒さえすればいいと思っている」などの言葉が寄せられ、衛生指導に偏りが伺える。

ファミリーレストランやファーストフード店は衛生管理・掃除についてのマニュアルがあるため、その面では心配ないと思われる。しかしファーストフード店でアルバイトしている学生は「虫をよく見かける」とも答える。チェーン店といえども一概に安心はできないようだ。

天久保で居酒屋を営むある経営者は「十数年つくばで店を開いているが保健所の立ち入り検査を受けたことなど一度もない。保健所の定期的な立ち入り検査がないから、経営者は怠けてしまうのではないか」と話す。

この真実を確かめるため、つくば保健所へ取材に向かった。

「飲食店の立ち入り検査は年に一回が理想。しかし個人経営の飲食店や小規模のチェーン店には実現できていない」つくば保健所食品衛生課課長の飯島さんは立ち入り検査の現状をこう話す。他県の保健所では年に一度、多いところで二度、立ち入り検査を実施している。また検査項目の数も茨城県は他県に比べ少ない。

立ち入り検査の回数の少なさを指摘すると「確かに甘いと思われるかもしれない」同所員の佐藤さんが言う。「つくば市内には飲食店が約三千店舗ある。一方、食品衛生を担当する人員は四人しかいない。この人数ではなかなか年一回が実現できない」とつくば保健所が抱える問題を話す。

飯島さんは「保健所の仕事は集団食中毒の被害拡大を最小限に抑えること。一日に数十人しか利用しない飲食店と一日六千食以上をまかなう給食とを比べると当然、給食を優先してしまう」と言う。また経営者に対しては講習会も開かれているが、一店舗には五年につき一度の割合でしか開かれてない。保健所の飲食店の衛生に関する業務は主に食品許可（飲食店を開業の際に必要な許可）・監視・苦情処理の三つ。つくば保健所はそのうちの監視を軽視していることが分かる。

また問題ある飲食店を積極的に取り締まることもできない、という現状もある。

「罰則を与えることが保健所の仕事ではない」と飯島さんは言う。例えば保健所は、複数の食中毒者が同じ店で同じ時間帯に同じものを食べていることが確認できなければ、店を営業差し止めにできない。仮に苦情があっても訴える人が少数の場合、経営者を指導する程度にとどまる。

「味・接客の良さ・値段の安さ等、飲食店を選ぶ基準は色々ある。そこに衛生の良さという基準も加えて欲しい」と本来、保健所が監視するはずの衛生状態までも市民に委ねる。

「保健所は警察と同じで民事不介入。大きな食中毒などの事故が起きていない飲食店に対しては、強い行動を取れない」と飯島さんは説明する。

つくばの保健所・飲食店の衛生に対する意識の低さは多数の犠牲者が出なければ、改善されないのか。しかし集団食中毒事件が発生してからでは遅い。保健所・飲食店に、一刻も早い改善を求める。

三千店舗を四人の職員で担当

保健所

TX つくばエクスプレスは今 ④

若林教授に聞く ―都市社会学の見地から

「陸の孤島」つくばはTXで開花するのか

研究学園都市の二重構造強まる

つくばは長年、「陸の孤島」と呼ばれ続けていた。つくばエクスプレス（TX）開業により大学や地域はどのように変化するのか。都市論や社会学などを専門に研究する人文社会科学研究科教授　若林幹夫氏に話を聞いた。　（山口）

―TX開業で学生生活に変化はあるのでしょうか。

まず、通いの学生が増えるだろうね。今は土浦からバスで来るの大変でしょ。でもつくばセンターまで電車で来れれば楽だよね。そうすると柏とか取手とか松戸とか場合によっては北千住などに下宿して、そこから通学する学生が増える可能性もある。でもそうすると宿舎がゴースト化するだろうね。大学としては宿舎をどうするかが課題になってくるだろうね。

―では生活スタイルの変化に伴って学生のタイプや文化は変わるのでしょうか。

それはTXだけでは説明できないね。国立大学が法人化して筑波大がどういうイメージをアピールしていくかによるわけで、関東地方の中で筑波大学を誰にどうプレゼンテーションしていくかのか。例えば「つくばの筑波大」ではなくて「秋葉原から四五分の筑波大」という形にアピールするなど。大学のアピールの仕方が変わってくると集まる学生が変わってくると思うよ。

昔、筑波大の学生はどんな子たちなのか筑波大出身の友人に聞いたことあって、そのとき「地方の二番目の進学校の一番成績がいい子たちが集まってて、親は学校教員が多い」と言ってたんだよ。

地方のそれなりの学校で一生懸命勉強をしてきた子が地元の国立大より「いいとこ」に行きたいと思い、けれど下宿のお金もそんなにかからないところという選択肢が筑波大なんだよね。国立大に行きたいけど東大はちょっとしんどいので私大のトップクラスを受けている都内出身の子たちが、それと同じような感覚で筑波大を受けるようになるかもしれない。そういう子たちがTX開通で今までより来やすくなるのではないかな。

そうなれば学生文化も変わっていくと思うよ。

―つくばに住んでいると私たち学生や研究者と地域住民との間には温度差があるように感じるのですが、TX開通により、さらにその差が開くと思われますか。

東京に近づくことによってつくばに来た人たちが、「研究学園都市」に定着するかもしれないけれど、「つくば」という土地に定着することにはならないのでは。研究学園都市の二重構造がより強い形で現れてくるのかもしれない。

研究学園都市の人の空間認識が「つくばと東京」であるのに対して、もともとここに住んでいる人たちは、まずここの村・地域があって次は土浦と思っているだろう。そういう認識の違いから、両者はすごく分断されている。今後それがTXの駅をコアにして一つにまとまるかというと、そうは言えないだろうね。

―TX開業によりつくばは東京のベッドタウンの一つになるのでしょうか。

つくばは東京の通勤圏としての魅力はそんなに大きくない。ただ研究学園都市の魅力が増すのは確かだね。今まで都内に住んでいる人にしてみれば「筑波大に来る」「つくばの研究施設に勤める」というのは「決断」だったんだよ。TXが開業すればつくばに来ることの心理的障壁が減るのではないかな。マンションや建て売り住宅の購入者は研究職の人がほとんどと聞いているから、「家買っても良いかな」という距離感にはなっていってるのだろうね。

つくばは都会ではないが「都市」だと思う

最近はつくばでも不動産開発が進んで、公団が土地を手放し、盛んにマンション建設が進んでいる。確かにTX沿線は通勤圏になるだろう。でも東京に通勤する人がTX沿線に住もうと思ったときに果たして「つくば」を選ぶかな。まず東京に二〇分ぐらいで着く柏くらいまでだよね。TX沿線の柏・流山でも膨大な宅地開発が進んでいるけれど、そこでさえも住宅が埋まるかどうかわからない。過去に同じような沿線開発を行った千葉ニュータウンでも土地が余っている。千葉ニュータウンは第三セクターの北総公団線という鉄道を敷き、東京に行きやすくしたけれど、土地が売れず千葉県の住宅供給公団は破綻し、都市再生公団も困っているのが現状だ。

つくばは土地は安いかもしれないけど代わりに何もないわけでしょう。街として生活しやすいか、というとまだまだわからない。特に外から来る人にしてみれば、いかにも「ニュータウン然」としているわけでしょう。そうした際に、つくばがどれだけ魅力があるかが重要になるだろうね。

東京の郊外という側面はもちろん出てくる。今でも牛久や土浦から通っている人もいる。でも、ひたち野うしく駅の周りが街として賑わっているかというとそういうわけではない。取手や守谷を通り越して、つくばが東京のベットタウンになるかというと疑問だね。つくばは東京の郊外になりつつあるけど、柏、松戸、町田、八王子のような郊外都市にはなれないだろう。

―最後の質問になります。ずばり、現在のつくばは「都市」と言えるのでしょうか。

つくばは都会ではないけれど「都市」だと思うよ。

「都市」というのは今まで人々が今まで住んでいた共同体や地域を離れて集まってコミュニケーションする場。そういう意味ではすごく都市的なんだよ。その土地に由来しない様々な情報や技術が集まって新しいものが発信されるという意味での「研究学園都市」なら「都市」かもしれない。ただ、賑わいがあって様々な人が入り交じっていて、そこから文化が発信されていくという意味での「都市」ではない。つくばは機能的に研究学園ということに純化していて、入植地的な意味での「都市」ではあるけれど、そこに集まっている要素が相互に作用し合って一つの場を作り出しているという意味での「都市」ではないと思う。

―どうもありがとうございました。

筑波大学
人文社会科学
研究科教授
若林（わかばやし）　幹夫（みきお）

昭和37年生まれ。
東京大学教養学部相関社会科学分科卒。
同大学院社会学研究科博士課程中退。
博士号（社会学）取得。東京工業大学助手を経て、現在、筑波大学社会学系教授。
専門は社会学・都市論・メディア論。
著作に『熱い都市 冷たい都市』（弘文堂）、『メディアとしての電話』（共著、弘文堂）、『未来都市は今：「都市」という実験』（廣済堂出版）
『都市への/からの視線』（青弓社）などがある。

珍來 過去・未来

シリーズ珍來を行く下

閉店にはちょっとびっくり――学生

珍來の思い出にふける――卒業生

平砂宿舎を抜けて東大通りに向かうと、閉店を迎え、解体作業が進む珍來が見える。天久保二丁目にある珍來本店は先月一〇日、二八年の歴史を終えた。現在はイタリア料理店への業態変更に向けて準備中である。学生・卒業生・地域住民・近隣の飲食店などにアンケート調査などを行い、その声をまとめた。　（林）

筑波大生を対象に一〇月初め、アンケートを実施し、八九名から回答があった。そのうち「本店に行った経験のある」人は二割で「閉店に気付いていた」のは三割強であった。「本店に一度以上行ったことがある」と答えたのは三人であった。回答者の中には「本店はおろか、どの珍來にも行ったことがない。珍來に関しては『見ためさびれた感じ』程度の印象しかなかった。アンケートに答えるまで閉店に気が付かなかった」（自然二）「醤油が足りない。パンチが足りない。味に主張がない。特徴が無い。まさに『ラーメン』という感じがする。ただ、天久保の珍來は、他と比べて多少良かったので、今回閉店になるというのはちょっとびっくり」（国際一）という声もあった。

また卒業生にも同様のアンケートを実施したところ「あの店は海鮮ラーメンなど、メニューに工夫を凝らそうとしている気配は感じた」（八八年卒）「ラーメンは食べた事がないが、ゴムみたいな麺という評判だったからチャーハンを食べていた。チャーハンはそれなりにおいしかった」（〇三年卒）などのコメントが得られた。ただ、昔は飲食店が少なかったためか、珍來を利用する頻度は今より高かったようだ。イタリアンへの業態変更について「期待する」と答えた学生は四割にとどまり「期待しない」と答えた学生を下回った。「実際に行ってみたいか」との質問には、三割が「行きたい」と答える。コメントとして「いきなりイタリアンと言われても想像できない。ただ、話のネタになりそうだから行ってはみたい」（自然二）「イタリアンだなんて想像つきません。珍來の印象というと、ローカル、イバ弁の客、という印象しかない。新店舗も『カッコつけてるつもりがいつのまにかヤンキーファッションになっちゃった』みたいな感じでしょうか」（九九年卒）「イタリアンになるといっても、夜中にイタメシ食うわけにもいかないだろうし、ピンとこない」（八八年卒）などがあった。アンケートの中には「これまで育ててきた職人たちはどうなってしまうのでしょう」（九九年卒）と珍來内部を心配する声もあった。

珍來に隣接するココス学園天久保店の武田店長は「確実に客取られるじゃないですか、やばいですね。個人的にも行ってみたいですね」と新たにできるイタリア料理店を競争相手に考えているようだった。「イタリアンはサイゼリアがあるからね。本格イタリアンっていっても中華料理を作っていた珍來が作るのではね…」という、地域住民の声も聞かれた。

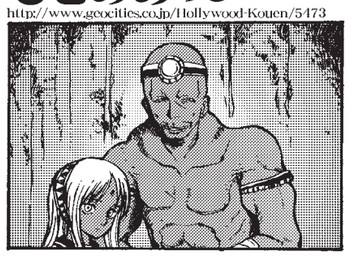
珍來が業態変更して生まれるイタリア料理店「DONODONO（ドーノドーノ）」は二月一日の開店を予定している。店名はイタリア語で「贈り物」を意味する。新店舗企画部の福田さんは「客への感謝を店舗全体で表したいから」と話す。手打ちパスタの本格イタリアンを千円前後で提供するという。また「コーヒー一杯で気軽に立ち寄れるカフェ使いのできる店にしたい」と学生の呼び込みにも力を入れている。ただ店側が学生を呼び込むために考案したオープンテラスは「大通りを走る車が気になるかもしれない」とすでに学生からは戸惑いの声も聞かれる。

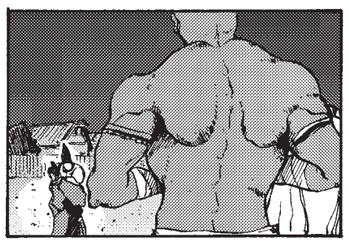
「店名が『イタリアンカフェ☆珍來』だったら面白い」「ネタになりそう」

「期待というよりこわいもの見たさで行く」との声にみられるように、学生が新店舗に求めているのは今のところ「おいしさ」より「おどろき」であるのかもしれない。一方、福田さんは「珍來は変わります！天久保に電気すら通っていなかった開店当初へ回帰し、皆様に『満福』をお届けします」と意気込む。この冬、つくばにおいしく親しみやすい飲食店が一軒増えているといい。

ひとののめ 93 ～妖～

http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Kouen/5473





◆インフォメーション◆

フランシス・オヌオハ

有志団体「フランシス・オヌオハ」では学園祭にて折り紙スペクタクルを開催いたします。

近代アフリカ折り紙の基礎を築いた人物としてフランシス・オヌオハという架空の人物を想像し、彼の功績をテーマにしながらも、日本の美の精神「わび・さび」をも絡めたニュー折り紙作品集『ヌヴァボ』を発表する予定です。皆様お誘い合わせの上、ただひたすらに折り紙を折るというコントをご観賞ください。

場所……1B401　時間……10月9日～11日
随時現地で問い合わせください）　料金……完全無料

劇団F○CK公演

「日経に就職決まりました！」というわけで劇団F○CK第四回公演『燃えよドラゴンズ(仮)』の開催です。第一回公演はあわや中止の憂き目に遭い、第二回公演は微熱のため中止となりましたが、前回の第三回公演では異例の『ドリンクバーシステム』が大好評だった劇団F○CK。今回の公演内容について団長に話を聴くと「もしかしたらまた微熱がでて、急遽牛久で公演になるかもしんない」との答え。準備も万全のようです。ハイカラなモボ・モガ諸君、オペラグラス右手にドリンクバー用グラス左手にご来場ください。

場所1B401(微熱の場合牛久での開催になります)
時間……10月10・11日　午後3時開演
料金……完全無料

サンクス春日店 TEL029-855-2650
深夜バイト(pm10:00～am3:00)募集中
青果販売を始めました

学生新聞を読んだその日から現金が舞い込んできました！
Cさん(ポストドクター)
働いて稼ぐのは当たり前ですが、やっぱり一攫千金は夢見ちゃいますよね。僕は非常勤講師として大学で働いているんですが、勤務時間数に上限があって超過勤務の給料がもらえなかったんです。しかも社会保険費や通勤手当も給付されなくて、正直職場に不満を感じていたんです。やっぱり年金だとか将来に向けての貯金とか重要じゃないですか。となると手っ取り早く大金を手にするのはギャンブルかなと思ったんですけど、負けが込むと怖いと思って躊躇してたんですよ。それで何かお金を稼ぐ方法をと思ってたときに目に入ったのが「筑波学生新聞」でした。もう藁にもすがる思いで購読したんです。お蔭様でこの夏で約900万の貯金ができて、未払いだった年金も全部払い込めたんですよ！もちろんギャンブルで稼いだ金だけで900万ですよ！もうなんて言うか運が味方になったような感じですね。それに研究も実際のところ運に左右されるところが大きいじゃないですか。「筑波学生新聞」を手にしてからの僕は研究も絶好調。トントン拍子に物事が進んで怖いぐらいです。お金に余裕が出来たんで研究に更に心血を注ぐつもりです！ありがとう「筑波学生新聞」！
※効果には個人差があります

あなたの住まい探しを応援します！
お気軽にどうぞ。
YELL
株式会社　エール不動産
あなたの街の不動産屋
学生大歓迎!!
〒305-0005
茨城県つくば市天久保2-12-15
Tel (029)852-1840 Fax (029)851-9810
0120-53-1840
http://www.yellfudosan.com/
条件に応じた物件をご用意いたします。
学生宿舎（平砂・追越）
↓当店　バッティングセンター　天久保公園　蔵人　至東大通り

写真とテープ
東京テープ
つくば天久保２－１５－７
ＴＥＬ０２９－８５５－２４３２

バイト募集!!
仕分作業スタッフ
一勤務1万円(PM5:00~AM2:00)
24時間受付OK!! まずはお電話下さい!
・面接時 / 履歴書(写真貼付)
・採用申込受付時
1、印鑑（シャチハタ不可）
2、筆記用具
面接は18：00-22：00の２回です。
電話にてご予約の上ご来社下さい。

その他募集時間と時給

時間	時給
①PM 6:00～PM10:00	890円
②PM 7:00～PM10:00	890円
③PM10:00～AM 2:00	840円
④AM 4:00～AM 6:00	950円
⑤AM 5:00～AM 8:00	950円

※PM10:00～AM5:00は深夜手当別途支給
短期アルバイトOK(一ヶ月～)
筑波大生大募集!!
ヤマト運輸株式会社 茨城ベース店
土浌市並木5-2954-1 TEL029-831-2785（採用担当係）